

活力ある長寿社会を目指して



「奈良県高齢者が社会参加し、いきいきと活動することを促進して活力ある長寿社会の実現を図る条例」のイメージ

目指す姿

活力ある長寿社会

人生100年時代における 高齢者の健康長寿*1とWell-being*2



*1自立して長生き *2肉体的・精神的・社会的に全てが満たされた「広義の『健康』」、「満たされた人生」

社会参加といきいきと活動できる環境を整備することや、主体的かつ自発的な参加・活動を促進することにより実現

取り組みの方向

- 交流・活動の場の創出・充実・維持
高齢者が社会とつながり、つながり続ける仕組みづくり
- 参加支援
高齢者と交流・活動の場をつなぐ

施策展開の柱

- 環境づくり(機会の提供、マッチング)
- 県民などへの啓発(意識醸成、理解促進)
- 活動を支える人や団体の育成・支援

人生100年時代を目の前に迎え、高齢者一人一人が健康長寿を享受し、心豊かで満たされた人生を送ることができるとして、実現することは大変重要です。そこで、令和5年4月に「奈良県高齢者が社会参加し、いきいきと活動することを促進して活力ある長寿社会の実現を図る条例」を施行し、関係団体などと協力して、高齢者の活動を促進する施策を進めていくこととしました。今回の特集では、そのさまざまな取り組みを紹介します。